

(お知らせ)

「平成 20 年度 容器包装 3 R 推進環境大臣賞」の決定について

平成 20 年 12 月 19 日 (金)
環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
企画課リサイクル推進室
直 通 03-5501-3153
代 表 03-3581-3351
室 長 上田 康治 (6831)
室長補佐 橋本 郁男 (6854)
係 長 安藤 英俊 (6837)

環境省では、容器包装廃棄物の 3 R 推進に資する活動の奨励・普及を図るため、平成 18 年度に「容器包装 3 R 推進環境大臣賞」を設け、平成 18 年度、平成 19 年度と表彰を行いました。本年度も引き続き、7 月 1 日 (火) ～ 8 月 29 日 (金) まで一般募集を行ったところ、合計 30 件 (地域の連携・協働部門 11 件、小売店部門 8 件、製品部門 11 件) の御応募をいただきました。

「平成 20 年度 容器包装 3 R 推進環境大臣賞 審査委員会」(委員長：安井至国際連合大学名誉副学長・東京大学名誉教授) において審査した結果に基づき、環境大臣が各部門の最優秀賞、優秀賞、奨励賞を決定しましたのでお知らせします。

各部門の最優秀賞受賞団体に対しては、環境省が平成 21 年 1 月 15 日 (木) に東京都内で主催する「容器包装 3 R 推進全国大会」において、表彰状を授与する予定です。

1. 環境大臣賞の選考

「平成 20 年度 容器包装 3 R 推進環境大臣賞審査委員会」(委員長：安井至国際連合大学名誉副学長・東京大学名誉教授、以下「審査委員会」という。) において、部門別に最優秀賞、優秀賞及び奨励賞を選考しました。

<審査委員会の名簿>

| 区分 | 氏名 (敬称略) | 所 属 |
|-----|----------|------------------------------|
| 委員長 | 安井 至 | 国際連合大学名誉副学長・東京大学名誉教授 |
| 委 員 | 酒井 伸一 | 京都大学環境保全センター教授 |
| | 崎田 裕子 | 3 R 推進マイスター、ジャーナリスト、環境カウンセラー |
| | 佐々木 春夫 | 社団法人日本包装技術協会専務理事 |
| | 塩谷 喜雄 | 日本経済新聞論説委員 |
| | 谷津 龍太郎 | 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長 |

2. 環境大臣賞の決定

環境大臣は、審査委員会での選考結果に基づき、地域の連携・協働部門、小売店部門及び製品部門について、次のとおり、最優秀賞、優秀賞、奨励賞の受賞団体を決定しました。

(1) 受賞団体

| 区分 | 地域の連携・協働部門 | 小売店部門 | 製品部門 |
|------|--|---|---|
| 最優秀賞 | 全国生活学校連絡協議会 (東京都千代田区) 「レジ袋減らし隊」全国運動 | 株式会社光生舎 (北海道札幌市) ECO推進サービス | 能勢酒造株式会社 (大阪府豊能郡能勢町) 能勢山水、能勢山水ウーロン茶 |
| 優秀賞 | 国立大学法人三重大学 (三重県津市) 三重大学の3R活動 | 株式会社ローソン (東京都品川区) “ケータイバッグ運動”の 推進によるレジ袋の削減 | レンゴー株式会社 (大阪府大阪市) Cフルーツ段ボール |
| | | | 東洋製罐株式会社 (東京都千代田区) さらに地球環境に優しい缶「陰王 軽量TULC(タルク)190g缶」 |
| 奨励賞 | 山梨県ノーレジ袋推進連絡 協議会 (山梨県甲府市) ノーレジ袋の推進 | 名古屋勤労市民生活協 同組合 (愛知県名古屋市) 3Rの全社的な推進ーレ ジ袋の削減運動、リサイク ルの推進の取り組みー | 該当なし |
| | 鹿児島県大崎町 (鹿児島県曾於郡大崎町) ごみの分別28品目「スーパー エコタウン大崎町」3R推進 運動 | 株式会社松屋フーズ (東京都武蔵野市) リユース箸(エコ箸)の全 店舗での導入による割り 箸の撤廃 | |

(2) 取組概要と受賞理由

【地域の連携・協働部門】

| 区分 | 事業者名 | 取組名 | 取組概要 | 受賞理由 |
|------|-------------|---------------|--|--|
| 最優秀賞 | 全国生活学校連絡協議会 | 「レジ袋減らし隊」全国運動 | <p>長年レジ袋削減運動を続け、更に一般の人々も広く参加できるよう、平成19年7月からわが国初の全国規模の取組として「レジ袋減らし隊」全国運動を市民団体等と共催で実施。</p> <p>本運動は、消費者がレジ袋を断った証として「レジ袋減らし隊カード」に店の押印を貰う仕組みで、消費者には金銭的な見返りは一切無いが、6,000店舗を上回る協力店、10県6市4区13町が本運動に協力して全国</p> | <p>◎多数の地方自治体や事業者を巻き込んで、全国規模で継続して活動する大規模な市民活動であり、熱意に敬服する。</p> <p>◎レジ袋削減の取組方法として、レジ袋辞退者にメリットのあるポイント制などを用いず「ご褒美のないカード」で実施したにも拘わらず、ここまで進展したことは高く評価できる。</p> |

| | | | | |
|------|-----------------------------|--|---|--|
| 最優秀賞 | 全国生活 学校連絡 協議会 | 「レジ袋 減らし隊」 全国運動 | で実施したもの。「レジ袋減らし 隊カード」だけで約 870 万枚、 協力いただいた企業や自治体の 削減枚数を合わせると、約 1 億 8 千万枚のレジ袋削減を実現。 | ◎今日では全国でレジ袋削減の 取組が進んでいるが、その先鞭 を付けた意義は大きく、今後の 展開に期待する。 |
| 優秀賞 | 国立大学 法人三重 大学 | 三重大学 の 3R 活動 | 大学が決定した環境方針と環 境目的を実現するため、三重大 学環境 ISO 学生委員会が中心と なり 3R 活動を実践。 Reduce 活動として、学生によ る三重大学オリジナルのエコバ ッグ作成、大学生協のレジ袋有 料化を実施、レジ袋使用量を 97%削減（2007 年度比）。 Reuse 活動として、放置自転 車の再使用システムを構築。 Recycle 活動として、古紙回収 と再生利用方法を見直し、オリ ジナルの循環型古紙回収再生利 用システムを構築。 | ◎取組が計画的かつ総合的であ る。 ◎有料化に伴いレジ袋使用量を 97%削減と高い実績に加え、 様々な取組を通じて、若年層が 身近に環境配慮行動を実践する 契機となっている点も高く評価 できる。 ◎三重大学の取組を参考に、他 大学でも同様の取組を実施する 動きが広がっており、波及効果 も大きい。 |
| 奨励賞 | 山梨県ノ ーレジ袋 推進連絡 協議会 | ノーレジ 袋の推進 | 同協議会は平成 19 年 8 月 31 日に発足、レジ袋削減の意識啓 発活動を実施。レジ袋の無料配 布中止（有料化）を実施するこ とが最も効果的であるとの判断 から、県内全域でのレジ袋無料 配布中止を目指して参加事業者 を公募し、平成 20 年 6 月に、当 協議会、事業者、市民団体、商 工団体、市町村、県による協定 を締結。協定参加者全体でのマ イバッグ等持参率は 83.7%（20 年 7 月現在）、レジ袋の削減を通 じた容器包装廃棄物のリデュース に大きな成果を上げた。 | ◎レジ袋の無料配布中止を推進 するため、同協議会が中心とな り、事業者、市民団体に加え、 県と市町村が協定締結に参加し て、全県的な取組を行った初の 事例として高く評価する。 ◎他の地方自治体でも同様の取 組を実施するなど、波及効果も 大きい。今後、同様の取組が全 国に広がることを期待する。 ◎協定を締結する事業者の一部 はレジ袋の全廃や使用済みレジ 袋の回収を行うなど、様々な取 組を展開している。 |
| 奨励賞 | 鹿児島県 大崎町 | ごみの分 別 28 品目 「スーパ ーエコタ ウン大崎 町」3R 推 進運動 | 埋立処分場の延命化を図るた め、埋立ごみを資源化する発想 で取組を開始。 取組内容は、①28 品目の資源 ごみの分別、②菜の花エコプロ ジェクト、③子どもたちの環境 学習を実施するなど。 | ◎容器包装の 3 R 推進に限ら ず、埋立ごみを 85%削減させた 実績は、地域住民が参加した、 家庭ごみ削減に係る優れた取組 事例として高く評価できる。 |

| | | | | |
|-----|-------------|--------------------------------------|---|---|
| 奨励賞 | 鹿児島県 大崎町 | ごみの分別 28 品目 「スーパーエコタウン大崎町」3R 推進運動 | その結果、埋立てごみが約 85%減少し、平成 19 年度環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」によるリサイクル率は 80%で全国第 1 位を達成。菜の花エコプロジェクトにより、廃食油、生ごみのリサイクルを通じて地域内資源循環、地産池消を推進。 今後、更なる埋立てごみの減量化によるリサイクル率の向上、ゼロミッションを目指し、次世代の子供達に継承する。 | ◎平成 19 年度環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」においてリサイクル率 80%と全国第 1 位となっており、今後とも他の地方自治体の目標として、一層の取組を期待する。 |
|-----|-------------|--------------------------------------|---|---|

【小売店部門】

| 区分 | 事業者名 | 取組名 | 取組概要 | 受賞理由 |
|------|--------------|-------------------------|---|--|
| 最優秀賞 | 株式会社 光生舎 | ECO 推進サービス | <p>エコロジカルな視点・発想を取り入れ、その一環として「ECO 推進サービス」を積極的に実施、環境保護の貢献活動を展開。</p> <p>【ハンガー回収】ハンガーを針金からプラスチック製に変更。ECO カードを導入し、ハンガー回収に伴いポイントを付与。</p> <p>【ノー包装】平成 18 年 6 月から「ノー包装」を開始。平成 20 年 4 月よりハンガー回収と同様、ECO カードにてポイントを還元。</p> <p>【お客様お持ち帰り袋の削減】平成 20 年 4 月から、エコバッグ持参もしくは「持ち帰り袋（クリーニング袋）」を必要としない時は、ECO カードにてポイントを還元。貯まったポイントで同社オリジナルのエコマイバッグとの交換も実施。</p> | <p>◎クリーニング業では商品の包装は必要不可欠とされてきたが、クリーニング袋の提供辞退者には、ハンガーに掛けて仕上がったクリーニング品にビニール袋をかけず渡す取組を実施しているのは、大変先進的と評価される。</p> <p>◎マイバッグ持参によるレジ袋削減とともに身近にできる家庭ごみの発生抑制（リデュース）方策の一つとして、環境に配慮した行動を実践する契機となることを期待。</p> |
| 優秀賞 | 株式会社 ローソン | “ケータイバッグ運動”の推進によるレジ袋の削減 | <p>環境省と「環境保全に向けた取り組みに関する協定」を締結、2007 年 3 月より、お客様と一緒にできる環境保全運動「ケータイバッグ運動」をスタート、無償配布をメインに、デザイン・仕様を公開して、全国から賛同</p> | ◎コンビニ業界ではレジ袋の無料配布中止は難しいとする中、マイバッグ（コンビニエコバッグ）の無料配布、レジ袋の使用辞退者に対するポイント進呈など、様々な取組を継続して実施している点は高く評価される。 |

| | | | | |
|-----|---------------|----------------------------------|---|--|
| 優秀賞 | 株式会社 ローソン | “ケータイバッグ運動”の推進によるレジ袋の削減 | <p>企業・団体を募って普及・拡大に取り組んでいるところ。</p> <p><目標>①ケータイバッグ 250万枚配布、②1店舗あたりのレジ袋使用重量 2008年度600kg (2005年度比20%減)</p> <p><内容>①ケータイバッグ配布の推進 (2008年7月末まで合計140万枚)、自治体との包括協定の締結、②協力企業・団体による作成・配布 (合計約60万枚)。</p> | <p>◎1店舗当たりのレジ袋使用量を2005年度の20%削減という環境省と締結した自主協定の達成に向けて、着実に成果をあげている。</p> |
| 奨励賞 | 名古屋勤労市民生活協同組合 | 3Rの全社的な推進-レジ袋の削減運動、リサイクルの推進の取り組み | <p>リデュースとして、①レジ袋の削減 (全店平均で常時96%以上のレジ袋削減率維持)、②容器包装の減量化等の取組を推進。</p> <p>リユースとして、ビン牛乳、レンタルモップ、布団の打ち直しなど再利用の取組を推進。</p> <p>リサイクルとして、①店頭回収 (全店舗で牛乳パック、ペットボトル、食品トレイ、卵パックの5品目を常時回収)、②食物残渣の堆肥化の取組、③廃油の燃料化 (BDF) の取組、④バイオマスプラスチックを使用した食器の開発、⑤地域のNPOと不用品のリサイクルの取組を推進。</p> <p>その他、環境家計簿の実施、ゴミを減らす学習会、3Rに関する環境学習会などを開催。</p> | <p>◎レジ袋削減率96%と高い取組実績に加え、30年以上レジ袋削減の取組を継続している点が高く評価できる。</p> <p>◎愛知県や名古屋市など地域の行政体と連携・協働した取組を長年実施しており、地域社会に貢献している。</p> <p>◎レジ袋削減の取組以外に、様々な3R活動を継続して実施しており、組合員以外にも波及効果を及ぼしている。</p> |
| 奨励賞 | 株式会社 松屋フーズ | リユース箸 (エコ箸) の全店舗での導入による割り箸の撤廃 | <p>全国697店舗 (平成20年7月現在) で使われる月1,000万膳の割り箸について、ゴミの減量、CO2削減等の観点から、再生箸への切り替えが急務と判断。</p> <p>安全性の確保やお客様の反応など4店舗による実験導入の結果を踏まえ、店内にポスターを張るなどのPRに努めた後、2008年5月、697店全てでリユース箸の導入を実施。年間1億2千万膳、530トンのごみを削減。</p> | <p>◎箸は容器包装ではないが、ファーストフードチェーンとしては他社に先駆けて全店でリユース箸を導入することで、ごみの発生抑制 (リデュース) とともに、若年層に環境問題を意識させる契機となった点が評価できる。</p> <p>◎店舗から回収したリユース箸を市民団体を通じてイベント等で再利用する実験を行う等、取組の広がりを期待。</p> |

【製品部門】

| 区分 | 事業者名 | 製品名 | 製品概要 | 受賞理由 |
|------|----------|----------------|---|--|
| 最優秀賞 | 能勢酒造株式会社 | 能勢山水、能勢山水ウーロン茶 | <p>同社は以前からリターナブル瓶の普及に努め、容器ごみの削減を行ってきたが、リターナブル方式による1ℓ化粧瓶入りウーロン茶を新たに開発した。</p> <p>ペットボトル入りウーロン茶の代替品として提供することでペットボトルごみの削減に寄与する商品として近隣家庭への宅配および飲食店向けに販売。</p> <p>過去1年間に販売した約10.4万本を、2ℓペットボトルに換算すると約5.2万本、ダンボールで約8600枚(2800kg)を削減したものと推定。</p> | <p>◎リターナブル容器を全国レベルで普及させることは大変に難しく、本事例のように地域で完結するリユースの仕組みを実践し、定着させた成功事例として評価したい。</p> <p>◎地域特性を活かした3Rの取組が重要であり、本件のような取組事例を全国に広げて、ネットワークづくりを推進することでリユースの輪が広がる。今後の展開に期待する。</p> |
| 優秀賞 | レンゴー株式会社 | Cフルーツ段ボール | <p>段ボール箱用として我が国ではAフルーツ(厚さ5mm)が使用されてきたが、欧米では薄いCフルーツが一般的。我が国ではAフルーツからCフルーツへの切り替えは無理とされてきたが、輸送効率が向上するCフルーツを普及させるために同社は①全国での製造拠点の整備、②わが国の湿潤な環境でもAフルーツ同様の強度を有することや地球温暖化防止に資すること等の証明、③強度や環境性能のPR等、様々な取組を行ってきた。</p> <p>その結果、現在2割程度の切り替えが完了、年間約1,400トンの二酸化炭素の排出量削減に貢献。同社製造のAフルーツを全てCフルーツに切り替えると年間1.2万トンの二酸化炭素を削減できる見込み。</p> | <p>◎欧米では普及しているCフルーツ段ボールだが、湿度の高いわが国では導入困難とされていたにも拘わらず、新技術を開発して普及に努めている点は高く評価される。</p> <p>◎従来品からの切り換えは現在では2割程度だが、他社も追従するなど、業界全体に波及している点も評価できる。</p> <p>◎運輸分野でのCO2削減対策として、段ボールは使用量が多いだけに軽量化の影響は大きく、普及を期待する。</p> |

| | | | | |
|-----|----------|------------------------------------|--|--|
| 優秀賞 | 東洋製罐株式会社 | さらに地球環境に優しい缶「陰圧軽量TULC(タルク) 190g 缶」 | <p>本製品は「缶の胴部の厚みを薄くすることが可能なTULC(タルク)の成形技術」と「優れた真円度を実現し、陰圧缶に必要なパネリング強度(缶胴の内側への変形に対する強度)の確保ができる、缶胴に接合部を必要としないTULCの成形方法」の組み合わせにより、現行のTULCに比べて6%、従来の溶接缶に比べて13%の軽量化(リデュース)を達成。</p> <p>従来のTULCと同様に、①成形工程上での二酸化炭素排出量の削減、②水は使用しない、③固形廃棄物量の大幅削減、等の環境保全上の効果が得られる。</p> | <p>◎本件は従来のTULC(タルク)缶に比べて6%、従来の溶接缶に比べて13%軽量化し、限界とされていたレベルを再度ブレークスルーしたことが高く評価できる。</p> <p>◎缶は生産量が多いため軽量化に伴う鉄の削減量は大きく、製品や資源ごみの輸送に伴うCO2削減効果も大きい。</p> <p>◎2008年8月より大手飲料メーカーの製品として導入、海外でも導入予定。また小規模CDM事業に承認されているなど、広く普及が進みつつあることも高く評価できる。</p> |
| 奨励賞 | 該当なし | | | |

3. 環境大臣賞の授与式の開催

平成21年1月15日(木)、ゲートシティホール(東京都品川区大崎1-11-1)で環境省が主催する「容器包装3R推進全国大会ーレジ袋削減の取組を全国へー」において、各部門の最優秀賞受賞団体に対して、表彰状と標章(資料参照)を授与する予定です。

また、会場内でパネル展示などを行っていただく予定です。

「平成20年度容器包装3R推進環境大臣賞」 審査基準一覧

| | 地域の連携・協働部門 | 小売店部門 | 製品部門 |
|-----------------------|---|---|--|
| 先進性・独自性 | 地域における容器包装廃棄物の3Rを推進する取組として、他では見られない各主体による内容の先進性や独自性があるといえるか。 | 小売店舗における容器包装廃棄物の3Rを推進する取組として、他の店舗による取組には見られない先進性や独自の工夫・アイデアがあるといえるか。 | 容器包装廃棄物の3Rに配慮した製品として、軽量化・薄肉化、詰め替え方式、単一素材化、リサイクル容易設計等について、他の製品には見られない先進的な特徴や独自の機能等があるといえるか。 |
| 有効性 | 容器包装廃棄物の3Rを推進する取組として、容器包装の使用削減やリターナブル容器の利用拡大、リサイクル率の向上など3R上の効果があるといえるか。 加えて、本取組がCO2削減その他の環境保全上の効果があるといえるか。 | 容器包装廃棄物の3Rを推進する取組として、容器包装の使用削減やリターナブル容器の利用拡大、リサイクル率の向上など3R上の効果があるといえるか。 加えて、本取組がCO2削減その他の環境保全上の効果があるといえるか。 | 容器包装廃棄物の3Rに配慮した製品として、容器包装の重量削減や分別排出コストの低減、リサイクル率の向上など3R上の効果があるといえるか。 加えて、本製品の製造・流通等においてCO2削減その他の環境保全上の効果があるといえるか。 |
| 継続性 (製品部門は経済性) | 継続性がある取組といえるか。また、取組の評価・改善が適切に行われているか。 | 継続性がある取組といえるか。また、取組の評価・改善が適切に行われているか。 | 原材料費や光熱水費の低減等、コスト削減につながる効果があるか。 |
| 連携性・波及性 (製品部門は普及性) | 容器包装廃棄物の3Rを推進する取組として連携性が高いといえるか。 また、他の消費者、NPO、事業者、地方公共団体等に広く影響を与え、波及効果を得ているといえるか。 | 容器包装廃棄物の3Rを推進する取組として、他の小売業者や製造事業者、消費者、NPO、地方公共団体等に広く影響を与え、取組が波及効果を得ているといえるか。 | 本製品が従来製品を代替するものとして、消費者への普及拡大が図られているか。 |
| その他 | 上記以外の特筆すべき点、アピールポイントとして示された内容について、評価するべきものはあるか。 | 上記以外の特筆すべき点、アピールポイントとして示された内容について、評価するべきものはあるか。 | 上記以外の特筆すべき点、アピールポイントとして示された内容について、評価するべきものはあるか。 |

平成18年度容器包装3R推進環境大臣賞 受賞者一覧

| 区分 | 地域の連携・協働部門 | 小売店部門 | 製品部門 |
|------|--|------------------------------------|--------------------------------------|
| 最優秀賞 | びん再利用ネットワーク (東京都新宿区) 規格統一したリターナブルびん(Rびん)の普及 | 京都生活協同組合本部 (京都府京都市) コープ下鴨 | 株式会社エフピコ 店頭回収したトレーを再生利用したエコトレー |
| 優秀賞 | 京都市レジ袋有料化推進懇談会 (京都府京都市) 京都市におけるマイバッグ等の持参促進及びびん袋の削減に関する協定 | 生活協同組合コープこうべ (兵庫県神戸市) コープ甲南 | キリンビール株式会社 ビール用軽量リターナブル大びん(633ml) |
| 奨励賞 | エコイベントサポートチーム徳島 (徳島県徳島市) エコイベントサポート活動—ごみゼロ阿波踊り大作戦— | 富山大学生活協同組合 (富山県富山市) 富山大学生協本店 | 東洋製罐株式会社 地球に優しい缶 TULC (タルク) |
| | P&Pトレーリサイクル研究会 (山形県新庄市) 食品トレーリサイクル・新庄方式 | | 明治乳業株式会社 軽量化200ml リターナブルビン |
| | 小海中学校生徒会 (長野県南佐久郡小海) アルミ缶回収活動および福祉活動 | | |

平成19年度容器包装3R推進環境大臣賞 受賞者一覧

| 区分 | 地域の連携・協働部門 | 小売店部門 | 製品部門 |
|------|--|---|---|
| 最優秀賞 | 財団法人地球・人間環境フォーラム (東京都文京区) リユース食器ネットワーク | 生活協同組合コープこうべ (兵庫県神戸市) 店舗でのマイバッグ運動(全店でレジ精算方式を実施)とリサイクル運動 | 大塚製薬株式会社 (東京都港区) ポカリスエット500ml ペットボトル(エコボトル) |
| 優秀賞 | あだちエコネット事業パートナーズ (東京都足立区) あだちエコネット事業 ステージ2 | 有限会社ラッキーピエログループ (北海道稚内市) MyMy運動(My箸、Myバッグ、My容器持参) | |
| 奨励賞 | ごみ5R推進本舗 (広島県福山市) ばら祭「笑コ笑コもったいない」プロジェクト | 生活協同組合コープいしかわ (石川県白山市) 買い物袋持参運動の向上にむけての取組 | 有限責任中間法人グリーンライフ21 (岐阜県多治見市) Re食器 |
| | 日本一の芋煮会フェスティバル協議会 (山形県山形市) 「日本一の芋煮会フェスティバル」が発信する「3R推進活動」 | 株式会社ローソン (東京都品川区) ケータイ運動 | 中央化学株式会社 (埼玉県鴻巣市) 使用済みPSP(発泡PS)トレーの店頭回収・リサイクル及び付加価値リサイクル製品の開発、ケミカルリサイクル技術の実証試験等の取組み |

※各部門の最優秀賞受賞団体に対して、「容器包装3R推進環境大臣賞標章」の使用権を付与した。